

地質ニュース

昭和50年2月

第246号

1975

- 解 説 西之島火山の活動とその観測(続)……………小坂 丈 予・1
- トピックス 低温断熱材として脚光を浴びるパーライト
～エネルギー問題に関連して～……………山 田 正 春・10
- 石油・天然ガス鉱床の地球化学探鉱②……………本 島 公 司・16
- 大阪市立自然史博物館
(Osaka Museum of Natural History)……………千 地 万 造・30
- 小松直蔵氏 勲四等に叙せられる……………地 形 課・37
- 金 華 山 KINKASAN……………43
- 国際会議 日米天然資源会議(UJNR)海底地質専門部会
第3回日米合同部会に出席して……………盛 谷 智 之・38
- 海外事情 アメリカ西海岸における海洋研究について……………盛 谷 智 之・44
- サウジアラビア王国における鉱物資源探査事業(続)……………藤 井 紀 之・52
- 地 学 と 切 手……………P. Q.・36

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

枕 状 溶 岩

枕状溶岩とは玄武岩質などの粘性の小さな溶岩流に多くみられる 水中または沼地や湿地を流れた溶岩流に特徴的に生ずる枕状構造をもった溶岩である。 枕状の団塊はガラス質のち密な皮殻を持ち 放射状の節理が発達する。

この写真は1973年3月6日に 神奈川県三浦半島の新第三系矢部層群中に見出された枕状溶岩の横断面を示す露頭である。 本城の矢部層群の平均走向は東西である。 従来 三浦半島では枕状溶岩の存在は知られていなかった。 団塊はかんらん石玄武岩である。 鏡下の観察ではかんらん石斑晶は輪かくを残すだけで カルサイトおよび粘土鉱物で充填されている。 斜長石の多くは急冷を示す骸晶をなし 石英のガラスは完全に粘土化している。

写真の団塊断面で放射状節理の発達が良くみられるが この節理はカルサイトで充填されている。 またこの団塊は二次的に移動した形跡がみられる。 この枕状溶岩については地質調査所報告に記載される。

(文 木村政昭 写真 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社